

渡良瀬遊水地保全・利活用協議会 第1回賢明な利活用検討部会 議事要旨

日 時：平成26年10月21日（火） 15時00分～16時57分

場 所：栃木市藤岡遊水池会館 2階大会議室

出席者：別紙出席者一覧表（構成員：44団体中28団体（38名）、

オブザーバー：4団体中1団体（1名）が出席）

<議事要旨>

※部会については、栃木市と小山市が交互に事務局を務めることとなっており、本会は栃木市が担当。栃木市総合政策課主事・大橋が司会進行。

1. 開会

司会より開会の辞。

2. 挨拶

※部会長を務める栃木市総合政策課 荒川主幹より。

- ・運営、部会の方向性の共通認識をさせていただきたい。
- ・前回照会したキーワードについては幹事会で検討し、資料をご用意している。構成員の皆様のご意見を伺いたい。

3. 議事

（1）今後話し合うテーマについて

- ・「検討資料」に基づいて荒川主幹説明。目的、活動内容、部会の方向性を確認。これらについて意見を求める。

○わたらせ未来基金 内田氏

部会の方向性については、渡良瀬遊水地の将来について、長期的な物や短期的なもの等、切り換えて話し合うのも手である。

○野木区 長澤氏

コウノトリ飛来の件が下野新聞に載っていたが、この部会で何か取組みを行ってはどうか。観光や生態系保全にもつながると思うので、調査の推進や確認の方法などを検討課題に入れてはどうか。

○渡良瀬遊水地第2調節池周辺地区治水事業促進連絡協議会 米田氏

思川堤防の強化、防災ステーション的な避難場所の設置、思川上流の整備もお願いしたい。

→部会の中で各団体が持っている要望を共有するのも大切である。

○渡良瀬遊水池を守る利根川流域住民協議会 猿山氏

検討資料に挙げられている部会のテーマ案は全て町おこしに繋がるものだと思うが、遊水地を活かした町おこしだけではなく、湿地保全のことも考えることも大切。連携・協力を活かし

て、夢をもつことが必要。

○特定非営利活動法人 スカイダイブ藤岡 藤原氏

出席して皆さんの話を聞く度に、なるほどなと思うところがある。例えば、先週の日曜日に外来種駆除をやっているのを見て、セイタカアワダチソウだけでなくヤナギも駆除対象になるのを知った、など。もうちょっとそれぞれの活動を知りたい。

【議長より】

仰るとおり、我々としても渡良瀬遊水地を知っているようで知らない。また、地域住民の方々も参加しにくい状況になっている。それでいて遊水地全体を考えたい。そういった意味で考えると、連携、あるいは協力ができる部分について動き始めた方が、みなさんが参加しやすいのではないかと。また課題が抽出しやすいのではないかと。方向性としてはこれで如何か。

○アクリメーション振興財団 白井氏

第一に本来の目的である治水・利水機能を基本として、その機能を増強していくこと。第二に環境の保全がラムサール条約の観点からも必要。これらを目的、あるいは基本条件として部会を進めていくという部会の方向性についての共通認識が必要。

利活用については、各自治体の持つビジョンの情報共有が必要。それぞれの特性を活かした利活用の検討が今後される中で、連携がキーワードになっている。「連携・協力」というテーマであれば、環境学習・自然観察会等の連携や、それらの指導者についてネットワーク化を図るのに、この部会を活用した体制づくりが行えるのではないかと。

渡良瀬遊水地は様々に利用されているが、自然環境の利用にあたって別途検討する必要があると思う。現在の利用方法もラムサール条約に抵触するわけではないので、積極的に有効利用することを図っていったら良い。

「賢明な利活用検討部会」としての旗印をもう少し明確にする必要がある。

○渡良瀬遊水地野鳥観察会 一色氏

前回照会したテーマについてすぐ出来るものと出来ないもの、他の機関に要請しなければならないものなどの分類が必要。そうすれば部会が進むのではないかと。

【議長より】

テーマの優先順位付け、役割分担の上でのテーマ設定が必要。当面の間は、その中で何か連携が出来るテーマで話し合いを行いたい。

○ラムサール湿地ネットわたらせ 楠氏

自治体が一体感を持って進めてくれるのが一番。テーマについては、一色先生が仰ったとおり、照会した意見を水平展開して、具体的なものに絞る必要がある。

○わたらせ未来基金 内田氏

地元の自治体も関心を持っている人もいますので、都合の付く人を誰かしら呼んで戴いた方が

良い。

→自治体としても、お話しを持って行くようにする。

《意見整理のため休憩》

【議長より】

幹事会としては、「連携・協力」というテーマが最適と考え、提案をさせて戴いた。しかし、構成員の皆様からはひとつひとつじっくり整理をしてから進めたいというお話しがあった。役割分担や優先順位、部会としてどこまでやるのかを検討をした方が良いのか、この点については如何か。

○渡良瀬遊水地関連地域活性化協議会 新村氏

安全対策が最優先である。道路の看板などの設置をやって戴きたい。また、外来種駆除のような湿地再生については人手が掛かるので、周りの住民の方と共同で進めては如何か。

【議長より】

照会したテーマについて役割分担や優先順位を幹事会で整理し、次回の部会時に提示する。また、スケジュールでは来月、「遊水地保全・再生検討部会」を開くことになっていたが、今回整理が全てつかなかったため、次回も引き続き「賢明な利活用検討部会」を行うこととしたい。

3. その他

○渡良瀬遊水地関連地域活性化協議会 落合氏より情報提供。

- ・総合学習でのガイドの取組などを紹介

○渡良瀬遊水地野鳥観察会 一色氏より配布したチラシの紹介。

- ・第49回渡良瀬遊水地野鳥観察会（遊鳥会）定例観察会資料

○わたらせ未来基金 内田氏より外来種駆除のPR。

○小山市企画財政部渡良瀬遊水地ラムサール推進室 篠原係長より情報提供

- ・コウノトリに関わる取組

○渡良瀬遊水池を守る利根川流域住民協議会 猿山氏より情報提供。

- ・「渡良瀬遊水地エコミュージアムを考えるシンポジウム」開催案内

○利根川上流河川事務所地域連携課 高橋専門官より配付資料の説明。

- ・第2回合同部会議事要旨にかかる修正について

4. 閉会

議長より閉会の辞